

「未来の学び」プランニングシート（自己の課題を発見し、合理的に解決しよう）

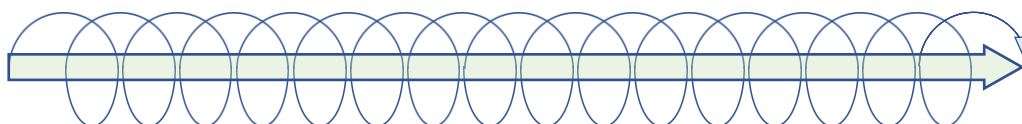
授業者 主任教諭 高橋健太郎

1 題材名 「器械運動」マット運動

2 単元を貫く問い

技がよりよくできるように、自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫する。

3 単元計画（全24時間）



単元	生徒の学習活動			
	導入	展開前半	展開後半	まとめ
1年 器械運動 （全8時間）	高まる体力や技能の構成を理解する	技能や知識の基礎・基本を理解する	自己の課題に応じた練習をする 【本時】	8時間で何ができるようになったか、考えを深める。
2年 器械運動 （全8時間）	協働的な学びで、技能を向上させる	対話的に課題を発見する	対話的に課題を解決する	16時間で何ができるようになったか、考えを深める。
3年 器械運動 （全8時間）	主体的な学習で生涯スポーツに活かす	技能の定着を確認し、自己の演技を構成する	技能の完成度を見直し、より良い演技を目指す。	24時間を通して、何ができるようになったか、今後のスポーツライフにどう活かすか、考えを深める。

4 本時の活動内容（6/24時間）

課題把握

前時までの学習を振り返り、本時の活動を確認する。

ねらい：自己の課題に合わせて、主体的に技能の完成度を高める。

個別学習

前時までの自己の課題を明確にすることで、より適切な練習ができることを目指す。自己の課題に応じて、3つの練習場所を選択し、練習をする。

or
協働学習

- ①自己の課題に対して、模範映像を確認したり、改善しようとする練習場所
- ②協働的にカメラで互いの演技を確認したり、技能を高められる練習場所
- ③マット運動が苦手な生徒に対し、タブレットを活用したり、個別に指導できる練習場所

振り返り

各学年の8時間目には、何ができるようになったかを考え、深い学びにつなげる。
※3年間を見通し、最後の授業では考えを深めるとともに、今後のスポーツライフや生涯スポーツにつながるようにする。

5 特に育成を目指す能力とその場面

《問題発見・解決能力》

- （個別学習）自ら課題に気づき、技能の完成度を高めるために自ら練習方法を選択し技能を高める。
- （協働学習）他者との協働学習では、ICTを活用しながら対話的に技能の向上を目指す。